

## 心臓外科治療の最先端を垣間見た公開講演会

池田ロータリークラブ  
公開特別講演会 実行委員会

小島 治  
奥村 昌也

奥村 勝彦  
井上 裕子

山口 正之  
永田 大介

今年度の国際ロータリーのテーマ「世界へのプレゼントになろう」、また第2660地区のテーマ「変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！」等を受けて設定された、池田ロータリークラブのテーマ「池田へのプレゼントになろう」の実践として、また家族奉仕・社会奉仕の一環として公開特別講演会を開催しました。

会場は池田RCの通常例会場でもある池田商工会議所の4つある会議室を全て借り切って、9月第3例会の移動例会として実施しました。

会員とその家族や知人、西宮ガバナー補佐、他の1組RCの皆様、池田RAC、池田市医師会を通じて医療関係従事者や市の関係部局の方々も来られ、総勢

130名の出席を頂きました。

小島会長による澤教授の紹介に始まり、澤教授の開発された「心筋細胞シート」による新治療法が心臓移植の代替医療になり得るとのマスコミ報道も直前にあった為か、開始から緊張感につつまれた会場でしたが、先生の「池田」との深い関わりから話が始まり、気さくで分かり易い話し振りに緊張感も融け、終始和やかな雰囲気の中、講演は続きました。

特に、ご自身の心臓外科に進みになったルーツである緒方洪庵を引き合いに出された下りでは、まさしくロータリー精神の根幹をなす職業奉仕に通じるものを多くの方々が感じ、感銘を受けたのではないかと思います。



<公開特別講演会>

タイトル：心疾患の最先端治療法について

講師：澤 芳樹氏

(大阪大学大学院医学研究科長、医学部長)